

2022年度第52回通常総代会開催 [7/9(土) 生協食堂ホール] 2021年度決算・2022年度予算を承認

7月9日(土)開催の今年度の府庁生協通常総代会は、コロナ感染が収まらないもとので、書面議決での出席を基本に行われ、102名の総代全員の出席で成立しました。(実出席7名 書面議決出席95名)

採決では、①2021年度の事業報告と決算、②2022年度事業計画と予算、③役員選任(2022/2023年度)、④役員報酬限度額の4つの議案すべてが圧倒的多数の賛成で可決承認されました。

役員は、理事14名、監事2名が選任されました。山田理事長が退任し、後任は本多専務が兼務することとなりました。

【採決結果】

第1号議案	2021年度事業報告及び決算関係書類等承認の件
第2号議案	2022年度事業計画及び予算決定の件
第3号議案	役員選任の件
第4号議案	役員報酬限度額決定の件

賛成	保留	反対
99	2	0
99	2	0
99	2	0
99	2	0

【来賓】

京都府知事代理 坂根職員総務課長
京都府職員労働組合連合 木守委員長

2021年度

- ①年度の前半は、コロナが第3波から第5波と続きました。後半は、減少が進みましたが、年明けからは第6波が急拡大し、経営は厳しいまま推移しました。
- ②購買は、前年度にあったコロナ対策事業の受注もなく、前年度の客数と変わらず推移しました。洛南も厳しい状況でした。
- ③食堂は前年度と比べるとやや客足が戻り、事業剰余で110万円の黒字になりました。
- ④旅行はコロナでほとんど休業状態でした。証紙等は200万円の黒字でした。

2022年度

- ①2022年度になってもコロナは収束せず、3月の第6波の後、次の波が来ようとしています。さらに、円安に加えウクライナ侵攻でさらに原材料費など諸物価が高騰しており、ますます経営が厳しくなりつつあります。
- ②府が証紙を廃止したため、9月でその収益がなくなります。
- ③予算は、厳しい状況の中で赤字解消とまではいかず、270万円のマイナスですが、何とか来年の教育庁の戻りと文化庁の転入による利用者の増につなげられるよう、今年度精一杯の努力をする予算として承認されました。

(千円)

【決算・予算】	2021決算	2022予算
供給高(売上)	378,350	327,984
収		
供給剰余	56,676	59,527
入		
手数料収入	13,339	13,579
支		
人件費	60,909	59,105
出		
物件費	21,648	21,586
事業剰余	△ 12,542	△ 7,585
当期剰余	△ 8,835	△ 2,770

【発言】(出席総代と書面議決書提出の総代から次のような発言がありました。)

- ・府証紙が廃止され、色々なやり方になるのでこれまでより府民への案内が難しくなる。
- ・プリンターなど公費発注で見積もりをとると、生協が負ける。トナーに限らず利益が減っても価格を下げる努力が必要ではないか。
- ・書籍の公費購入が本庁以外の公所でもできることをもっと宣伝すべき。
- ・府当局への補助の要請や、府職労の取り組みを期待する。
- ・生協ならではの産直や環境問題の取り組みができればと思う。
- ・大変な時期ですが、乗り切っていきましょう。

